

第2回次世代を担う有機化学シンポジウム

6月25日(金)

10:00~11:06

- 1-01 抗結核菌活性を有する海産テルペノイド Elisabethin C および Elisapterosin B の合成研究 (東京薬大薬) 宮岡宏明, ○見留英路, 長峯輝明, 本多大地, 山田泰司
- 1-02 光学活性なデカリン骨格を有するトリテルペン類の合成 (東邦大薬) ○木下雅子, 藤原直子, 中村大輔, 秋田弘幸
- 1-03 Halipeptin 類の全合成研究 (千葉大院薬) ○原 聡亮, 牧野一石, 濱田康正

11:16~12:22

- 1-04 環境調和型合成反応を指向した水中ラジカル反応の開発 (神戸薬大¹, 京大院薬²) ○上田昌史¹, 宮部豪人², 西村 梓¹, 杉野久子¹, 宮田興子¹, 内藤猛章¹
- 1-05 ヒドロキサム酸を持たない新規ヒストン脱アセチル化酵素阻害薬の設計, 合成と生理活性評価 (名市大院薬) ○鈴木孝禎, 長野友紀, 瀨瀬章泰, 松浦 梓, 幸田光復, 宮田直樹
- 1-06 免疫修飾を目指す新規マンノシダーゼ阻害剤の開発—立体選択的 Mannich 反応による 5 位置換 swainsonine アナログの diversity-oriented 合成— (徳島大院工) 永澤秀子, ○藤田智也, 中山真一, 宇都義浩, Douglas A. Kuntz, 堀 均

14:05~15:11

- 1-07 白金族触媒による芳香環重水素標識化法の開発とその応用 (和光純薬化成研¹, 岐阜薬大²) ○伊藤伸浩¹, 江寄啓祥², 前沢典明¹, 無籐和重¹, 前川智弘², 佐治木弘尚², 廣田耕作²
- 1-08 スクアレン合成酵素阻害薬 TAK-475 の発見 (新規 4,1-ベンゾオキサゼピン誘導体の合成とコレステロール合成阻害作用) (武田薬品工業医薬研究本部) ○三木 隆, 郡 正城, 馬淵 宏, 兎澤隆一, 西本誠之, 杉山泰雄, 手島浩一郎, 行正秀文
- 1-09 光学活性オリゴナフタレン類の合成と機能 (京大化研) 椿 一典, ○田中弘之, 三浦正哉, 森川浩至, 川端猛夫

15:26~16:32

- 1-10 抗マラリア活性物質ボレリジンの全合成 (北里大薬) ○長光 亨, 高野大介, 乙黒一彦, 桑嶋 功, 針谷義弘, 大村 智
- 1-11 E-ビニルプロミドの立体選択的合成法の開発と擬似不斉型配位子を用いた不斉 Grignard クロスカップリング反応 (名市大院薬¹, 東邦大薬²) 堀部秀夫², ○近藤和弘¹, 村上泰興², 奥野洋明², 青山豊彦¹
- 1-12 密度汎関数法による亜鉛アート錯体の理論的機能解析 (東大院薬¹, 科技団 PRESTO², 東大院理³) ○内山真伸^{1,2}, 中村信二¹, 松本洋太郎¹, 大和田智彦¹, 中村正治^{2,3}, 中村栄一³

16:42~18:10

- 1-13 有機分子触媒によるビシクロ[3.n.1]型化合物の不斉構築と活用 (東北大院薬) ○板垣徳晃, 木村真理, 菅原 勉, 岩淵好治
- 1-14 新規 5-Endo-trig 型環化を含むラジカルカスケード反応の開発と縮環型アルカロイド合成への応

用 (金沢大院薬) ○内山正彦, 石田敦子, 田村 修, 石橋弘行

1-15 イノラートを用いたアシルシランの高立体選択的オレフィン化反応及びその応用 (徳島大薬資源七) ○松本健司, 新藤 充, 穴戸宏造

1-16 水中での分子間ラジカル付加反応を用いたアルデヒド体からのチオエステル体及びアミド体への効率的合成法の開発 (阪大院薬) 南部寿則, ○畑 佳世子, 松儀真人, 北 泰行

6月26日

10:00~11:06

2-01 エナミドを用いる触媒的不斉付加反応の開発研究 (東大院薬) ○松原亮介, 中村嘉孝, 清原 宏, P.J.V. Vital, 小林 修

2-02 アクロレインβ-アニオン等価体およびジエノールシリルエーテル前駆体としてのγ-ヘテロ原子置換-α,β-エポキシシラン (広島大院医歯薬) ○佐々木道子, 寶未 舞, 武田 敬

2-03 キナゾリンアルカロイド febrifugine を基盤とした新規抗マラリア物質の創製 (東北大院薬) 菊地晴久, ○平井真吾, 大島吉輝

11:16~12:22

2-04 Pd 錯体を利用したアルキリデンー及びアルケニリデンマロナート誘導体の脱共役を伴うアリル化反応の開発 (北大院薬) ○大西英博, 山本拓輝, 佐藤美洋, 森 美和子

2-05 Tricycloclavulone のエナンチオ選択的全合成 (東京薬大生命科学) ○長谷川峰樹, 竹中陽介, 伊藤久央, 井口和男

2-06 CuF(I)を用いた触媒的不斉炭素-炭素結合形成反応の開発 (東大院薬) ○和田麗子, 須藤 豊, 生長幸之助, 金井 求, 柴崎正勝

13:35~15:03

2-07 Staudinger Ligation を用いた汎用性の高いペプチド-ポルフィリン複合体合成法の開発 (名市大院薬) ○梅澤直樹, 岩間伸介, 樋口恒彦

2-08 蛍光ラベル化したペプチドカリックス[4]アレーンライブラリーの合成とそのペプチド誘導体に対する応答性 (徳島文理大薬) ○久保美和, 吉田博子, 大西由見子, 梨本恵美, 坂東幹彦, 日置英彰, 児玉三明

2-09 フグ毒テトロドトキシンの効率的な不斉全合成 (名大院生命農¹, さきがけJST²) ○占部大介¹, 西川俊夫^{1,2}, 磯部 稔¹

2-10 ナフチリジノマイシンの合成研究 (東大院薬) ○森 一樹, 力丸健太郎, 菅 敏幸, 福山 透